

# 大地の声



第14回通常総代会を開催しました。

詳細は2、3ページをご覧ください。



## 持続可能な経営基盤を確立 「不断の自己改革」の実践 ～第14回通常総代会開催～

席727名（委任状出席0名）、合わせて734名（総代数767名）が出席しました。

総代会では、青木進代表理事組合長の挨拶に続き、永年にわたり農協活動に深いご理解とご協力を賜りました、マル福出荷組合前組合長 吉岡健志様、野田地区女性部前部長 横川しげ子様、野田中央地区運営委員会前委員長 遠藤正様、柏地区運営委員会前委員長 谷田貝賢治様、西船地区運営委員会前委員長 石井孝一郎様へ感謝状と記念品が贈呈されました。さらに、職員表彰として総務部 山岡拓磨職員（JA経営マスタートーカー修了・農協監査士取得）、柏

木哲氏を選任して議案の審議に入り、提案された5議案と附帯決議が賛成多数で承認されると共に、報告事項が報告されました。

### 〈提出議案〉（ ）内は賛成数、反対数

- 第1号議案（賛726・否1）  
定款の一部変更について
  - 第2号議案（賛726・否1）  
令和3年度事業報告及び剰余金処分案の承認について
  - 第3号議案（賛723・否4）  
第5次中期経営計画・第4次地域農業振興計画設定について
  - 第4号議案（賛724・否3）  
令和4年度事業計画設定について
  - 第5号議案（賛724・否3）  
令和4年度における理事及び監事の報酬について
- ※議決権行使書を含む

6月23日、当JAは柏支店2階大会議室で第14回通常総代会を開催しました。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点より、書面議決を中心にした出席にするなど、安全を確保し開催しました。その他、事前にURLを告知し、当日の会場の様子が分かるようライブ配信を行いました。

この日は、本人出席7名、議決権行使書出  
優績LA・全国表彰専任LA部門第1位へ表彰状と記念品が贈られました。  
その後、議長に柏地区の鈴



感謝状が贈られた皆さん（写真左より）  
石井孝一郎様、谷田貝賢治様、遠藤正様  
青木進組合長、横川しげ子様、吉岡健志様



職員表彰（写真左より）  
川島翔平職員、青木進組合長、山岡拓磨職員

# 令和3年度 JAちば東葛 実績報告

## 令和3年度 貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部	
科 目	金 額
1 信用事業資産	258,374,419
2 共済事業資産	16,313
3 経済事業資産	614,826
4 雑資産	379,805
5 固定資産	8,834,087
6 外部出資	11,705,949
7 繰延税金資産	41,907
資産の部合計	279,967,310
負債の部	
科 目	金 額
1 信用事業負債	259,290,720
2 共済事業負債	1,549,478
3 経済事業負債	220,708
4 雑負債	466,000
5 諸引当金	800,273
6 再評価に係る繰延税金負債	964,152
負債の部合計	263,291,334
純資産の部	
科 目	金 額
1 組合員資本	13,682,558
(1)出資金	1,858,272
(2)資本準備金	636,662
(3)利益剰余金	11,208,482
(4)処分未済持分	△ 20,858
2 評価・換算差額等	2,993,417
(1)その他有価証券評価差額金	482,221
(2)土地再評価差額金	2,511,195
純資産の部合計	16,675,975
負債及び純資産の部合計	279,967,310

### 剰余金処分計算書 注記

- 出資配当金は年1.00%の割合です。
- 事業分量配当金は、組合員の次の取引に対して行います。  
 購買品利用高に対して、1.10%、園芸販売高に対して0.065%、米出荷に対して1俵200円、乳代に対して1kg0.10円の割合です。
- 次期繰越剰余金には、教育、生活、文化改善事業の費用に充てるための繰越金額24,000,000円が含まれています。

## 令和3年度 損益計算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目		金 額
事業総利益		3,250,157
内	信用事業総利益	2,012,523
	共済事業総利益	885,095
	購買事業総利益	160,549
	販売事業総利益	78,741
	保管事業総利益	209
	農産物直売所事業総利益	53,552
	利用事業総利益	3,141
	宅地等供給事業総利益	87,110
	アンテナショップ事業総利益	3,251
指導事業収支差額	△ 34,016	
事業管理費		2,891,075
事業利益		359,082
事業外損益		272,374
経常利益		631,455
特別損益		△ 3,069
税引前当期利益		628,386
法人税等合計		165,999
当期剰余金		462,386
当期首繰越剰余金		883,841
当期末処分剰余金		1,346,228

## 令和3年度 剰余金処分計算書

(単位：円)

1 当期末処分剰余金		1,346,228,564
2 剰余金処分数		539,326,369
(1) 利益準備金	100,000,000	
(2) 任意積立金	400,000,000	
① 経営基盤強化積立金	100,000,000	
② 施設整備等積立金	200,000,000	
③ 災害対策積立金	100,000,000	
(3) 出資配当金	18,308,519	
(4) 事業分量配当金	21,017,850	
3 次期繰越剰余金		806,902,195



## 今後のJA運営について話し合いました—JA

JAでは、6月上旬から中旬にかけて常勤役員と各地区運営委員の皆さんとの意見交換会を開催しました。意見交換会は、委員の皆さんからご意見・ご要望などをいただき、地区間の交流や情報共有を図るとともに、組合員の意思反映と今後のJA事業の更なる発展を目的に行いました。



野田北部地区での様子



西船地区での様子

参加した委員の皆さんからは、世界情勢の影響による原材料費高騰に対する要望など、生産に関する逼迫した生の声が聞かれました。

また、理事及び地区運営委員の皆さんと討議を重ね第5次中期経営計画に反映した「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に向け、自己改革工程表に沿った実践を進めてまいります。

## 被害状況を確認—JA



説明をする組合員と青木組合長

一刻も早い状況把握と初期対応をするため、役員・各地区支店職員・経済担当者による現地確認を実施し、被害状況の情報共有を行いました。

また、西船地区では被害を受けた作物を農産物直売所「ふなっこ畑」で販売を行いました。

6月2日3日に関東地方を襲った降雹は、当JA管内にも影響を及ぼし、野田地区・西船地区で計78件（6日時点）の施設・作物被害が確認されました。今後は、行政などと連携し早期回復に向けた営農指導を行います。

JA役職員は6月8日、3日に降雹の被害を受けた組合員宅を訪問しました。

青木進組合長、大塚幸夫常務、山村勝則常務が地区担当職員と共に、特に被害報告が多かった野田地区・西船地区の組合員の自宅や圃場、農業施設を確認。当日の様子を聞くなど、組合員の話に耳を傾けながら、被害状況の確認と今後の対応について話し合いました。

JAでは雹が発生した当日と翌日、



被害を受けた圃場（船橋市内）

## 育てる大切さ、食べる大切さを伝えました—三須一生さん、西船地区経済センター



西船地区で主にトマトを生産する三須一生さんと西船地区経済センターは5月19日、船橋市立市場小学校を訪ね2年生35名を対象に食育活動を実施しました。

この日は、児童らにミニトマト・ピーマン・ナスから好きな苗を1つ選んでもらい、それぞれの植木鉢に植え替える作業を行いました。三須さんから、これから育てる野菜についてや栽培管理の説明など、野菜作りの指導がされました。

その後設けられた質問コーナーでは「何日くらいで育ちますか?」「どれくらい水をあげればいいんですか?」など多くの質問が飛び交いました。



## 規格の統一を図りました—福田出荷組合



市場関係者の話を聞く生産者

野田地区福田支店管内の福田出荷組合（マル福出荷組合・マル新出荷組合・本郷出荷組合・灰毛出荷組合）は6月2日、木野崎集出荷場で枝豆出荷査定会を行いました。生産者10名のほか、JA全農ちば、市場関係者、JA職員が参加しました。

JA全農ちばの職員から情勢と主産地の動向、今後の見通しなどの報告があったほか、市場関係者から出荷時の注意点などの話がありました。また、参加した生産者らは現品を手に取り規格の確認など行いました。

## 旬を迎えました—ふたば青果物出荷連合会葉生姜部会



ちば東葛ふたば青果物出荷連合会葉生姜部会は6月14日、土支店会議室で出荷査定会を開催しました。生産者10名をはじめ、東葛飾農業事務所、JA全農ちば、市場担当者、当JA役職員が参加しました。

査定会では、JA全農ちばの職員が市場情勢や主要産地の動向を報告し、東葛飾農業事務所担当者が病害虫防除などの説明を行いました。その後、現品を手に取り、品質向上・有利販売に向け、出荷時の注意点や規格について確認がされました。

同部会ではピークを迎える6月上旬から、都内を中心に近郊の市場へ共撰出荷を開始。9月中旬まで続きます。



現品を手に取り確認をする生産者



## 女性大学講座を開講しました—西船地区女性部

5  
5月10日  
女性部

説明を聞く参加者の皆さん

西船地区女性部は5月24日、西船地区多目的ホールで女性大学講座第1回を開催しました。

大興産業(株)の猪原大介氏を講師に迎え「お酢を使った料理」と題し、10名の部員の皆さんが参加しました。

エコープ商品の「らっきょう酢」「ほめられ酢」「5倍酢」を使用し、“鶏肉の酢醤油煮”や“わかめと玉ねぎのサラダ”などお酢の幅広い用途の説明を頂きました。



美味しく出来上がりました

参加した方からは「サラダも梅の酢漬けも簡単で美味しい」「参加してよかった」など感想が聞かれました。

## 春の訪れを感じました—野田地区女性部

5  
5月10日  
女性部

野田地区女性部は4月26日、野田地区多目的ホール会議室で短期大学講座第1回を開催しました。

同女性部福田支部の阿部川礼子さんを講師に、「春の花フラワーアレンジメント」を行い24名が参加しました。

オオデマリやオリエンタル・リリーなど、春から初夏にかけて見頃を迎える7種類の花をバランスよく生けました。

完成した花を前に「見た目も香りも楽しめて、華やかな気分になる」と参加した皆さんも春の訪れを喜んでいました。

華やかな  
アレンジメントが  
完成しました

完成した花を前に

## 地元野菜をもっと身近に！—西船地区

17  
17日  
西船地区

## ●西船橋の魅力を発信！

西船橋葉物共販組合と西船橋枝豆研究会を中心とした生産者8名は、6月10日11日の2日間、JR西船橋駅構内コンコースで直売会を行いました。

販売会場として設けられた特設ブースには、船橋産ブランド野菜の小松菜、枝豆、トマトやきゅうり、トウモロコシなど朝採れの野菜が揃い、行き交う駅利用者が立ち止まり話を聞くなど賑わいました。

JR西船橋駅では駅周辺の魅力発信のため、船橋産農産物の販売イベントを行っており、3月に開催したイチゴの直売会をきっかけに今回のイベントの開催が実現しました。

## ●一人でも多くの市民に届けたい！

JA、西船地区青壮年部は6月15日、東武鉄道船橋駅コンコースで地場野菜即売会を行いました。小松菜や枝豆、人参など船橋を代表する農産物を中心とした新鮮野菜や、花き、鶏卵などが販売されました。

即売会は、船橋産の農畜産物を多くの市民に発信し、地域農業への理解を深めてもらうために船橋市農水産祭実行委員会が主催となり行われました。当JAのほか、JAいちかわの生産者や船橋市内の生産者が参加し、立ち寄った消費者へ説明をするなど交流の場にもなりました。



# みどりの食料システム戦略

農林水産省HP  
QRコード



～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～

環境負荷低減を目指す農林水産省の政策方針「みどりの食料システム戦略」をご存知ですか？我が国で起こっている大規模自然災害、世界で問題になっている地球温暖化、生産者の減少や高齢化など農林水産業に関わる政策課題は山積しています。諸外国は、環境や健康に関する戦略を組み合わせながら持続可能な食料システムを構築し、将来に備える動きを見せています。我が国も、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立を実現するため新たな考え方や技術を取り入れ、新たな価値を創造し、変革をもたらす取組として出した政策が「みどりの食料システム戦略」です。

## 2050年までに目指す姿

### 農林水産業のCO2排出量ゼロ化の実現



低リスク農薬への転換、総合的な病害虫管理体系の確立・普及に加え、ネオニコチノイド系を含む従来の殺虫剤に代わる新規農薬等の開発により化学農薬の使用量(リスク換算)を…

50%低減

輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量を…



30%低減

耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を…



25%に拡大  
100万 ha

※一部の取組方向は省略



### 期待される効果



#### 経済

持続的な産業基盤の構築

- 輸入から国内生産への転換(肥料・飼料・原料調達)
- 国産品の評価向上による輸出拡大
- 新技術を活かした多様な働き方、生産者のすそ野の拡大

#### 社会

国民の豊かな食生活・地域の雇用・所得増大

- 生産者・消費者が連携した健康的な日本型食生活
- 地域資源を活かした地域経済循環
- 多様な人々が共生する地域社会

#### 環境

将来にわたり安心して暮らせる地球環境の継承

- 環境と調和した食料・農林水産業
- 化学農薬・化学肥料の抑制によるコスト低減
- 化石燃料からの切替によるカーボンニュートラルへの貢献

※農林水産省「みどりの食料システム戦略について」説明資料より抜粋

「みどりの食料システム戦略」の新法が4月22日の国会で可決！この食料システムを進めるうえで、生産者だけに負担が集中しないよう配慮することを含めた附帯決議がなされました。

※下線は全てJA千葉中央会によるものです。

環境と調和のとれた食料システムについては、農林漁業者、食品事業者、消費者等の幅広い関係者の理解の下、これらの者が連携することにより、その確立が図られるものであることに鑑み、国が必要な施策の検討及び実施を行うに当たっては、農林漁業者等、特定の者のみに過度な負担をもたらすことがないよう配慮するとともに、農林水産物・食品の付加価値を高め、農林漁業者をはじめとする関係者の経営の発展、農山漁村の活性化に資するよう努めること。(※以下省略 第208回国会 参議院農林水産委員会(令和4年4月21日)附帯決議より一部抜粋)

# 営農情報

## 【土づくりについて】



野田地区経済センター  福島 仁

施肥管理は土づくりが重要になります。中でも堆肥を施肥することは土づくりの基本です。現状では「散布作業の負担」や「堆肥臭」など様々な課題があり、年々堆肥の施用が減少しています。そこで今回は、その問題を解消できる土壌改良材をご紹介します！

## レオグリーン特号



### 濃縮ペレット堆肥

- 主要な成分の含有量：N3.1%、P3.2%、K1.3%
- 主な有機原料：バーク堆肥、魚粕、米ぬか 等
- 作物に必要な微量元素(鉄、マンガン、ホウ素等)もバランスよく含有

### 【形状見本】



### レオグリーン特号のポイント

- ペレット状で機械散布可能！
- 一般堆肥に比べ水分量が少なく散布量を削減！
- 豚糞を使用しているが、比較的臭いは抑えられているため住宅街でも使用ができる！

### 10aあたりの施肥量

野菜・果樹・花卉：200kg(10袋)～300kg(15袋)  
水 稻：100kg(5袋)～160kg(8袋)  
※播種、定植の2週間以上前によく土と混合しておくのがコツです！

## アヅミン

### 楽しく地力アップ！

- 腐植酸をたっぷり含有しているので、30～40kg施用するだけで堆肥1トン分の腐植酸が補給できます！

### 肥効アップ！

- 石灰・苦土を土壤に浸透・分散させます。
- リン酸をはじめ、他の肥料成分の肥効を高めます。

### 根の活力アップ！

- 細根が増え、根張が良くなります。作物の土台となり、養分の入り口となる根づくりをバックアップします。



### 保証成分

- ・く溶性苦土：3%  
(内水溶苦土1%)

### 含有成分

- ・腐植酸：約50%

### 使用のポイント

- ・他の肥料と混合施肥で肥効がアップ！
- ・堆肥との併用でふかふかの土づくり！
- ・果樹園などの耕起しにくい圃場でも効果を発揮！

### 10aあたりの施肥量

野菜・果樹・花卉等：40kg(2袋)～80kg(4袋)  
水 稻：20kg(1袋)～40kg(2袋)

